

部局名	健康福祉部	所属名	長寿支援課	所属長名	小川 敏行	電 話	483-1151 内線2220
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9135		事務事業名称	前年度繰上充用金						短縮コード	経常	9135	臨時	
予算区分	会計	25	老人保健特別会計	款	05	繰上充用金	項	01	繰上充用金	目	01	繰上充用金		
区 分	☐ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☒ その他				根拠法令等	老人保健法								
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
医療事業は、支払基金交付金と国・県・市の負担金により賄われているが、どの機関も見込みにおいて額を決定している。平成17年度においては、国庫負担金の交付率が低く、一般会計から繰り入れた運転資金をもって老人保健特別会計が歳入不足となったため、翌年度から充当することとなった。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして						
医療費総額、交付率が未確定な運営であり、今後も発生する可能性がある。						大項目（節）	01	保健・医療						
						中 項 目	02	医療						
						小項目（施策）	01	地域医療体制の整備・充実						
						細 項 目	02	医療費の給付等						
					実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	平成17年度老人保健特別会計の歳入不足（歳出超過）額								
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 平成17年度老人保健特別会計において、歳入が歳出に対して不足したため、平成18年度老人保健特別会計から地方自治法施行令第166条の2に基づき繰上充用した。								
	※平成19年度に計画していること： 平成18年度老人保健特別会計は、歳入不足（歳出超過）でないため実施予定無し。								
意図 （何を狙っているのか）	平成17年度老人保健特別会計の歳入不足を充当するため。								
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	平成17年度老人保健特別会計の確定。								
区 分					単位	17年度	18年度		19年度
						実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	事業区分「その他」のため評価対象外	なし						
	指標2								
	指標3								
活動指標	指標1	事業区分「その他」のため評価対象外	なし						
	指標2								
	指標3								
成果指標	指標1	事業区分「その他」のため評価対象外	なし						
	指標2								
	指標3								
上位成果指標	指標1								
	指標2								
	指標3								

コード		9135	事務事業名称	前年度繰上充用金			所属名	長寿支援課
			単位	１７年度	１８年度		１９年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	8,767	0	
		県	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
	主な事業費の内訳					前年度繰上充用金		
	人件費(B)			千円	0	0	87.1	0
トータルコスト(A)+(B)			千円	0	0	8,854.1	0	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由								
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☐ 結び付いている		事業区分「その他」のため評価対象外								
			☐ 結び付くが見直しの余地がある										
			☐ 結びつきが弱い・ない										
			☒ 評価対象外事項										
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		事業区分「その他」のため評価対象外								
			☐ 達成していない										
			☒ 評価対象外事項										
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		事業区分「その他」のため評価対象外								
			☐ 可能性はない										
			☒ 評価対象外事項										
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☐ 現状のままでよい		事業区分「その他」のため評価対象外								
			☐ 見直す必要がある										
☒ 評価対象外事項													
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2、3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		事業区分「その他」のため評価対象外								
			☐ 効率性向上の可能性はある										
			☐ 両方可能性はある										
			☐ 可能性がない										
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等										
			☐ 臨時的任用職員等の活用										
			☐ I T化等業務プロセスの見直し										
			☐ 受益者負担の見直し										
			☐ 類似事業との統合・役割見直し						類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
			☐ 上記以外の方法									実施主体 (所管部署)	
			⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）						☐ ある				
	☐ ない												

コード	9135	事務事業名称	前年度繰上充用金				所属名	長寿支援課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			事業区分「その他」のため評価対象外			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
	☐ 廃止							
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
今後の方向性	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			事業区分「その他」のため評価対象外	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
特に無し。	

所属長コメント	事業区分「その他」のため評価対象外	
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続	事業区分「その他」のため評価対象外
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
	☐ その他	
	☐ 廃止	
	☐ 休止	
	☐ 現状のまま継続	